

あいちの印刷

7

2011.7
No.476



株式会社オーク建築設計事務所

もくじ

巻頭言「心の機微」／副理事長 鳥原久資 …… 11
中部地区印刷協議会
平成23年度上期会議(岐阜県会議) …… 12
売上高経常利益率5%を目指すための冊子 …… 16
環境マネージメントシステム「エコアクション21」 …… 17

身近な催し物のお知らせ …… 17
春の叙勲 旭日小綬章受章 岩田宗雄氏 …… 18
印刷機材団体協議会「IGAS2011」 …… 19
社日本印刷産業連合会「カーボンフットプリント制度」 …… 20
消費電力削減アクションプラン／事務局だより …… 22

巻頭言

「心の機微」

副理事長 鳥原 久資

いままでの企業経営は売上、利益、資産、上場企業であれば株価そして社員数といった数字で評価されてきました。しかしその考え方が大きく変わりつつあります。人口が減少し、作ればモノが売れた時代とは違い、どんなに便利なものでも、どんなにお値打ちでも「必要のないものは購入しない」時代になりました。

ところが、相も変わらず業界ではダンピングを繰り返しています。値下げはサービスとは言いません。値下げをする事で経営が追い込まれる様子をこのところ何度も目にしています。適正価格を確保できない状況で、満足なサービスを提供することは困難です。そして何よりもその仕事に従事する者の「働きたい」「やりがい」を奪ってしまいます。

最近の大学生が企業を選択する基準は、企業規模や認知の有無だけではないそうです。むしろ彼らの視点はどれだけ社会貢献に努めているか、CSRに軸足を置いているか、そして社員の働きたいを支援しているかを選択の大きな理由としています。つまり数字だけで評価されない時代になっている事を実感しています。

少し前までのマーケティングは、お客様にとって便利なもの、コストダウンができるもの、

効果的に結果を出せる事を提示していくことがポイントでした。ところが多くの情報が氾濫し、加えてお客様が勉強するようになると「モノの提供」だけでは支持されなくなってきました。むしろその会社を「支援したい」という理由が取引を開始する理由になってきたようです。華々しい数字ではなく、地道にコツコツと社会貢献をしていく会社が今後指示されていくと思います。

神奈川県の大川印刷さんはインターシップの積極的な受け入れ、営業車のカーシェアリングをはじめとするCSR活動に大変熱心な会社です。昨年12月に全印工連が制作した「業態変革に取り組む印刷会社」にも取り上げられ、取り組む思いを「CSR活動は余裕があるからやるのではなく、本気でやるから支持を得られ継続する力となる…」というメッセージを出していました。

これからは、こうした企業の姿勢が問われる時代だと思います。規模とは関係のない、社会がそして働く人が求める企業活動を進めていく真摯な姿勢が大切な要素だと思います。「あなたから買いたい」「御社の姿勢に共感する」こうした心の機微に触れる取り組みが大切なマーケティングの要素だと思います。

多様化するニーズに応じて

オフ輪プロセスインキ
New **Advan PREMIER**
ニューアドバンプレミア

枚葉プロセスインキ
FusionG
フュージョンG

カルトン用UVインキ
Dai Cure ABILIO
アビリオ

100%植物油型枚葉インキ
ナチュラル100
ナチュラル100

新世代エッチ液
Presarto
プレサート

NEW 給水ローラーパッケージ
DIC水棒ECOパック
[DIC水棒洗浄剤ECO] + [DIC親水処理剤ECO]

DICグラフィックス株式会社

■本社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
■名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-15



■中部地区印刷協議会



平成23年度上期会議(岐阜県会議) 全体会議(前半)・分科会・全体会議(後半)・交流会 業界の課題と展望を討議

中部地区印刷協議会のもよう

中部地区印刷協議会(四橋英児会長)／以下、中部地区協)の平成23年度上期会議(岐阜県会議)が、6月17日午後1時より岐阜市の岐阜グランドホテルにおいて開催されました。

上期会議は、全体会議(前半)、分科会(経営革新・マーケティング委員会、環境委員会、組織・共済委員会、教育・労務委員会、取引公正化委員会、理事長会)、全体会議(後半)、交流会の4部構成で行われました。このうち、全体会議の前半では、「全印工連報告・連絡事

項」を池尻淳一全印工連事務局次長が、「日印産連経営羅針盤」を臼田真人全印工連経営革新・マーケティング委員長が説明を行いました。全体会議後半では、各分科会での討議内容の報告が各委員長からありました。

なお、愛知県工組からは、高井昭弘理事長(来賓の全印工連副会長として参加)、木野瀬吉孝、細井俊男、鳥原久資、岡田邦義の4副理事長、猪飼重太郎、松岡祐司、鬼頭則夫、伊藤公一、鈴木正の5理事、そして、加藤修専務理事が出席しました。

■「業態変革実践プラン2012」の策定

会議は、中部地区印刷協議会事務局長を務める加藤愛知県工組専務理事の司会で始まりました。

開催県を代表して田中良幸岐阜県工組副理事長が、東日本大震災で被災した印刷業界の復興にエールを送った後、「この会議が意義あるものになりますようにお願いします」と挨拶。

次いで、四橋会長が挨拶に立ち、東日本大震災に対する政府の対応の遅さに苦言を呈した後、「我々中小企業はやろうと思っただけですぐに実効できます。今日も臼田委員長の講演を聞いて、「これはいい、と思っただけですぐできます。先日、愛印工の主催されたセミナーで松岡教育委員長のお話を聞き、共感するところが多々ありました。そこで、すぐに真似をさせていただいた。民間企業というのはスピードが最も大事です。今日いろいろと議論・討議が行なわれますので、是非活かしていただきたいと思いま

す」と述べました。

来賓挨拶では、全印工連高井副会長が次のように述べました。高井副会長は、まず、東日本大震災に触れ、「義援金の協力に感謝」した後、「義援金が約9,750万円集まり、福島、岩手、宮城、茨木の各県工組に届けました」ことを報告。さらに、昨年行ったアドビのライセンスについて、「皆さんの協力もあって、3,200本の販売が出来ました。これにより全印工連へのマージンも入り、組合財政が潤いました」と、協力への感謝を表明。

さらに高井副会長は、愛知県の現状について触れ、「今年になってバタバタと倒産がでました。この倒産を見てみますと、特に、オフ輪の下請け屋さんには安売り、安売りで、如何に経営力がないのかということをつくづく感じました。社員を悲しませ、お客さんを困らせ、そして、仕入先にも大変迷惑をかけ

る、こういうことはもうなくしたい、と思いますので、どうか地元へお帰りになりましたら、経営力アップのための勉強をしっかりといただくようにお伝えいただけたらと思います」と、安値受注への警鐘を鳴らしました。

そして、「今、お客様第一主義という言葉が使われています。お客様満足とは、何に満足していただいているのか、安い価格で提供して満足していただいているのか、あるいは、過剰なサービスをして満足していただいているのか、そうだとしたら、大きな間違いで、どうも履き違えているとしか思えません。私は、もうボチボチ社員第一主義という考え方に、我々の業界も、もう一步先に行かないと、なかなか良い業界にはなっていないのではないかと、いう気がします。社員が満足しないような業界では先が大変心配です。社会貢献も出来ません。どうか、社員第一主義ということに目が行くような、そんな業界になるように皆様のご指導をいただきたいと思えます」と述べました。

また、高井副会長は、愛知県工組が昨年行ったポスターグランプリについて触れ、「今年は、岐阜県工組、三重県工組と一緒にやって行うことになりました」と報告。さらに、厚生労働省のジョブ・カード制度を活用した新入社員研修について、「200時間の教育で、1人あたり約38万円の助成金を受け、新入社員の教育を行うことができました。各県工組におかれても、是非、活用されることをお勧めします」と、ジョブ・カード制度活用を促しました。

続いて、加藤事務局長から平成22年度収支決算、平成23年度予算（案）について報告が行なわれ、いずれも承認されました。（詳細略）

次いで、「全印工連報告・連絡事項」に移り、全印工連池尻事務局次長が、平成23年度事業計画の基本方針、実施事業について報告しました。（詳細は別項参照）。

その後、「日印産連 経営羅針盤」について、全印工連白田経営革新・マーケティング委員長が講演しました。（講演内容については次号に詳報）。

休憩をはさみ、分科会・理事長会に移り、各委員会で活発な討議が行われました。



四橋英児中部地区協会長



高井全印工連副会長

「経営革新・マーケティング委員会」は、出村明（石川県工組副理事長）委員長のもと14名が参加。（鳥原副理事長、鬼頭、鈴木、伊藤の各理事が出席）。「教育・労務委員会」は、松岡祐司（愛知県工組理事）委員長のもと8名が参加。（岡田副理事長が出席）。「環境委員会」は、山添克治（三重県工組副理事長）委員長のもと8名が参加。（細井副理事長が出席）。「組織・共済委員会」は、楠行博（富山県工組常任理事）委員長のもと12名が参加。（猪飼理事が出席）。「取引公正化委員会」は、鈴木岳志（岐阜県工組理事）委員長のもと7名が参加。（木野瀬副理事長が出席）。「理事長会」は、地区協議会長以下各県理事長5名及び池尻全印工連事務局次長が参加。（加藤事務局長が出席）。

休憩をはさみ、全体会議後半がスタートし、分科会・理事長会報告に入り、各分科会における討議内容を委員長が報告。理事長会は、東澤光明富山県理事長が報告しました。

その後、意見交換、全印工連討議事項を行い、木野瀬愛印工組副理事長の閉会の辞で、平成23年度中部地区印刷協議会上期会議を終えました。

交流会は、岡田忍岐阜県工組副理事長の司会で始まり、四橋会長「長時間お疲れ様でした」との労いの挨拶に続き、感謝状が須垣純夫富山県工組前理事長に贈呈されました。その後、永野博信石川県工組理事長の乾杯の発声で交流会に入り、情報交換と親睦に一時を過ごした後、塚本征也三重県工組理事長の中締めで終了しました。

■全印工連「報告・連絡事項」

平成23年度事業計画／基本方針と実施事業

全印工連「報告・連絡事項」について池尻淳一事務局次長から報告がありました。以下、事業計画の基本方針と実施事業です。

(1) 基本方針

東日本大震災により、経済活動が停滞し、景況感は急速に悪化しています。さらに、使用電力の削減、資材調達
の支障など、大きな影響を受けているところ
です。こ



池尻事務所次長



臼田委員長

のような時こそ、組合の主要な機能である「連帯」「対外窓口」「共済」を存分に発揮した諸事業を各工組と連携しながら取り組むことが、組合の存在意義を高めることに繋がると確信し、事業計画を着実に推進してまいります。

具体的には、業態変革を実践・実行・継続するための「業態変革実践プラン2012計画」の策定や印刷関連業界と共有する印刷産業ビジョンの研究を進めて、9月に東京で開催する全印工連フォーラムで、その成果を発表します。また、昨年発表した産業戦略提言2010は、その具体化に向けた各種研究および事業構築に着手します。

また、経営羅針盤を中心とした経営基盤強化の推進とマーケット創造の研究、環境関連法令の研究・対応や関連情報の収集・提供など、環境対策の積極的な推進、魅力ある組合活動と共済制度加入促進キャンペーンの展開、見える化を中心とした企業改革のための情報提供、全印工連特別ライセンスプログラム事業の拡充、業界内外へのメディア・ユニバーサルデザインの啓発、全国的な情報網の構築による即時性の高い情報の提供および対外広報の強化など、組合支援セミナーも織り交ぜながら積極的に進めてまいります。

さらに、被災を受けられた会員企業の再建への支援に努めるほか、官公需入札制度改善への取り組み支援、資機材問題への対応、事務局機能強化のための業務改善も推し進めてまいります。

(2) 実施事業

■業態変革実践の推進

リーマンショック以来の長引く景気の悪化、新しい様々なデジタルデバイスやメディアの登場、そして、大震災後の印刷業界への影響など、目まぐるしく変る環境の変化に対応し、業態変革を一日も早く実践していく必要があります。

業態変革のスピードを速めるとともに、全組合員に広めていくことを目標に、業態変革を実践・実行・継続するための「業態変革実践プラン全印工連2012計画」の発行や支援事業を展開していきます。

①「業態変革実践プラン2012計画」の発行、②「業態変革実践プラン2012計画」の周知・徹底、③業態変革セミナーの普及・推進

■産業成長戦略のデザイン

「産業成長戦略提言2010『ソリューション・プロバイダーへの進化』の具現化に向け、M&A事業、業界CSR認定事業、海外展開事業、アライアンス事業の4事業の構築を目指した各種研究と実際の取り組みに着手します。

①M&A事業構築に向けての研究・推進、②業界CSR認定事業の企画・立案、③海外展開事業の研究・推進、④アライアンス事業の推進、⑤セミナーの開催支援

■印刷関連産業と考えるビジョン

前年度に引き続き、将来の産業ビジョンを印刷関連産業と共有し、業界の活性化に繋げていくための印刷産業ビジョンの策定に向けた研究を行なうとともに、その研究成果については、今年9月に予定されている「全印工連フォーラム」で発表します。

①印刷関連産業との印刷産業ビジョンの共有、②印刷媒体価値の更なる向上の研究、③ワンストップサービスへの関連業界のサポートビジネスの研究、④クライアントへの新しいサービス提供の研究、⑤メーカー、ベンダーの新しい技術・サービスの研究

■経営革新・マーケティング事業の研究

政策機能を果たす役割の強い経営革新・マーケティング委員会は、未曾有の局面に直面している今だからこそ、「組合企業の売上経常利益5%」を目標に、より即効性と実行性の高い施策を、全ての組合員企業へ伝え、この時代に見合った業界各社の経営基盤健全化に向けた事業

なぜ、人材派遣はモトヤ？

印刷関連業務のスタッフを必要となときに必要な期間だけ派遣します。

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

M-JOB-N@VI

<http://www.m-job-navi.com/>

モトヤ人材派遣部 名古屋 ☎(052)935-5315

モトヤ人材派遣部 大阪 ☎(06)6261-1941

モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719

派遣事業許可番号 般 27-030254/紹介事業許可番号 27-ユ-030174

それは、印刷関連業務に特化した人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから...

■派遣職種

- コピーライター ● デザイナー ● WEBデザイナー
- DTPオペレーター ● スキャナーオペレーター ● CTPオペレーター
- 印刷オペレーター ● 校正 ● 印刷進行管理者 など全般

業界で一番お客様思考に立った印刷関連総合商社を目指す

株式会社 モトヤ

<http://www.motoya.co.jp/>

名古屋 〒461-0035名古屋 市 東区 黒門町 128 ☎(052)935-5315

大阪 〒542-0081大阪市 中央区 南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931

東京 〒104-0032東京都 中央区 八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711

横浜・埼玉・千葉・京都・神戸・姫路・福岡

を実行していきます。

また、国内外のソリューション・プロバイダーの事例研究を行い、0.5歩先の市場開拓を端緒とし、その成果を情報発信して活用を促します。

①経営イノベーションの研究推進／経営羅針盤を中心とした経営基盤強化の推進、②マーケット創造（新市場創造）の研究／国内外ソリューション・プロバイダーの事例研究、プリントズームの発行協力、③業界動向調査の実施／印刷業経営動向実態調査の検討および実施

■環境対応の推進

日印産連との連携を強化し、GP（グリーンプリンティング）認定制度およびリサイクル対応型印刷物の普及推進、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素（CO₂）の削減、カーボンフットプリント対応などに努めていきます。また、インターネットを活用したISO14001取得支援事業「環境経営印刷ネットワーク」の拡充を始め「環境セミナー」など、環境改善に向けた諸事業を展開していきます。

①GP認定制度の普及推進、②環境マネジメントシステムの研究と推進／ISO14001取得支援事業の推進、③環境関連情報の収集・提供／環境セミナーの企画・提供、日印産連情報の考察・分析・提供、印刷産業環境優良工場表彰の推進・強力、環境関連法令の施行・改正情報の提供、④地球温暖化対策の情報収集・提供／カーボンオフセット、カーボンフットプリントの研究および情報提供、省エネルギー対策などの情報提供

■組織・共済事業の推進

魅力ある組合づくりを目指し、各種事業活動への協力を行います。併せて、各共済制度の積極的な加入促進を行い、新規共済事業の研究を行います。

①魅力ある組合活動の推進／組合加入促進に関する情報収集・提供、メディア・ユニバーサルデザイン活動への協力、②組織関連情報の収集・提供と対応、③共済制度の推進／各共済制度への加入促進キャンペーンの展開、生命共済事業の推進、経営者退職功労金制度事業の運営、災害補償・総合設備・医療共済事業の推進

■教育・労務事業の推進

本年度も「見える化」による収益改善の啓発活動を通じて、企業改革に向けた有益な情報提供を行います。

①企業改革のための情報の提供／「見える化」から

始める収益改善」の啓発活動の推進、全国教育・労務委員会（仮称）の企画開催、ホワイトカラーの生産性の向上に関する研究、②制度教育事業の実施および改善・改革／印刷営業講座・印刷営業士認定試験の実施、印刷生産技術講座・印刷生産士認定試験の実施、営業士・管理印刷営業士フォローアップ教育の推進、③全印工連特別ライセンスプログラム事業の推進／テクニカルセミナー（仮称）の企画開催、次期ライセンス契約参加募集に向けての体制整備、④労働関係法令の研究と対応、⑤関係団体との連携

■メディア・ユニバーサルデザイン活動の推進

刻一刻と進化していくメディア・ユニバーサルデザインの考え方を発信していきます。

①MUD新冊子の編集・発行、②「第5回MUDコンペティション」の実施、③MUDセミナーの実施、④各地域におけるMUD活動への協力・支援、⑤NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD協会）実施事業（認証・検定試験など）への協力

■広報事業の推進

全印工連と各工組、さらには組合員企業を迅速に結ぶ全国的な情報網とホームページの運用を強化し、即時性の高い情報提供方法の研究を行います。

①メール配信など、全印工連と各工組、組合員企業を結ぶ情報網の強化、②友好的な対外広報活動の研究、推進と全印工連事業のPR活動、③機関誌「日本の印刷」の発行とホームページの更新、④JAGATとの機関誌コラボレーションの検討、⑤東日本大震災に関する情報収集と情報発信

■資機材問題への対応

「用紙価格など動向調査」の実施などにより、資機材情報の収集に努める。また、資機材供給の安定化に向け、関連団体と連携しながら適宜対応を図って行きます。

■協議会の開催

①地区印刷協議会、②全国メディア協議会、③全国青年印刷人協議会

■全印工連フォーラムの開催

■その他

①各種刊行物の発行、②印刷文化財保存への協力、③関係行政機関、関係団体との連絡

OLIVER496SD

菊全判4色印刷機

大型多色SDシリーズ 第一弾

オールインワン
最新自動化設備 完全装備



最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03) 3643-1131(代) FAX.(03) 3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 35-255(代) FAX.(0575) 35-2861

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06) 6308-6651(代) FAX.(06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092) 741-2672(代) FAX.(092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 33-1260(代) FAX.(0575) 33-3146

ISO 9001・14001認定取得
生産技術本部

売上高経常利益率5%を目指すための冊子

■全印工連「印刷産業経営羅針盤」発刊

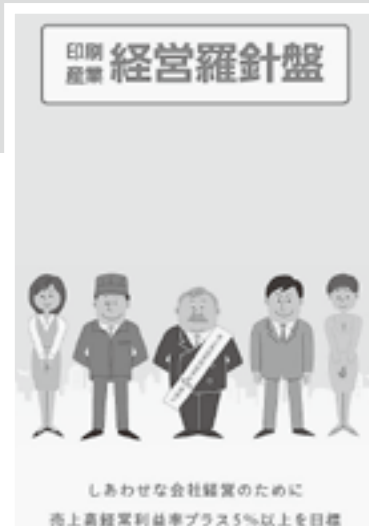
全日本印刷工業組合連合会（水上光啓会長）の経営革新・マーケティング委員会（白田真人委員長）では、幸せな会社経営と売上高経常利益5%を目指すための羅針盤となる冊子、「印刷産業経営羅針盤」を発行した。

同書は、厳しい環境の中で、勝ち残るために、印刷会社はどのように経営革新に取り組むべきか？

Q&Aによる「問診表」で、自社の経営診断を行い、「知る・選ぶ・行動する」の3つのステップを踏みながら、経営革新に必要な「事業戦略」「収益構造」「マネージメント」を理解し、実践できる内容になっている。自社の問題点・弱点を症状別に分類し、営業の生産性向上やコスト改善など、`症状に応じた処方箋、を用意している。

自社の経営状況から長所・短所を把握する必要性と方法を解説し、現状把握から一段階ステップアップして、中期計画に基づいた経営方法について指南する。また、「数字を見ろといわれても見方がわからない！」という声に応え、経営状況を把握するのに欠かせない「貸借対照表」や「損益計算書」の読み方も、平易でわかりやすい言葉で解説している。経営を見直したいという経営者にとって実用的な一冊となっている。

同書発刊にあたり白田委員長は「はじめに」の巻頭挨拶で、「平成22年度の経営革新・マーケティング委員会は、経営イノベーションとマーケット創造の2つのワーキンググループを軸に、事業を展開しました。そのうち、経営イノベーションでは、`売上高経常利益率プラス5%、を目標として、組合員各位の経営基盤の強化を目指しました。目標を実現する具体的なツールとして1年間かけて完成したのが『印刷産業経営羅針盤』です」と述べ、印刷経営羅針盤の内容について、「はじめに問診表で自社の経営診断を行い、知る・選ぶ・行動するの3つのステップを踏みながら、経営革新に必要な事業戦略、



「印刷産業経営羅針盤」表紙

収益構造、マネージメントを理解、実践できる内容となっています。会社の規模や業務内容に係わらず、全ての経営者の方々が今日から学び、経営に役立てることができるよう、できるだけ平易な表現の心がけ、かつ経営革新にいたるポイントを過不足なく取り込みました」と、紹介している。

また、全印工連・水上光啓会長、および、同・経営革新マーケティング委員会スーパーバイザー高井昭弘副会長は、「冊子発行によせて」の中で、「これほどよく整理され、身の丈に合ったテキストはありません」、「中小印刷業界の必携の書といっても過言ではありません」と、賞賛の言葉を贈っている。

〈目次〉

- 第1章 印刷市場動向と経営革新のポイント
- 第2章 印刷業の4つの症状例と処方箋
- 第3章 売上高経常利益率5%のための経営ノウハウ
- 第4章 事業戦略革新
- 第5章 収益構造革新
- 第6章 マネージメント

サイズ：A4版100ページ、価格：組合員2,500円（税込み）、一般5,000円（税込み）。

本書は、愛印工組で取り扱っておりますので、ご希望がありましたらお申し出ください。申し込み方法など、詳しくは、TEL052(508)5201担当勝野まで。

御社の印刷工場になります

制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制

- ◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です
- ◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました
-0.04mmの薄紙から0.8mmまでの厚紙まで-
- ◎菊全シルバーマスターでのページもの印刷もできます

 **大日印刷株式会社**
0564-62-8461(代)

幸田工場 額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX(0564)62-8463

<http://www.p-dainichi.com> E-mail:mail@p-dainichi.com

お役に立てる印刷機材の総合商社

創業1889年の盛功社は2009年、120周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をはげみとして新たな未来へ

- 印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
- DTP関連機 ●その他印刷諸材料



株式会社 **盛功社**

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280

■環境マネジメントシステム

「エコアクション21」

愛知県が導入に向けての取り組みを応援「無料説明会」

エコアクション21は、企業などにおける環境への取り組みを、効果的・効率的に行なうことを目的に、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価する環境経営システムを構築、運用、維持すると共に、社会との環境コミュニケーションを行なうための方法として、環境省が策定したものである。

愛知県では、このエコアクション21取得を目指す県内の工場・事業場を対象に、訪問による無料個別説明会を行ない、「環境マネジメントシステム導入に向けての取り組みをお手伝いする」としている。

※訪問による無料個別説明会

- 1) 対象者 愛知県内の工場・事業場
- 2) 費用 無料
- 3) 訪問員 エコアクション21審査人などの専門家（愛知県環境調査センター職員が同行）
- 4) 時間 1時間程度
- 5) 申し込み・問い合わせ 愛知県環境調査センター企画情報部（担当：宮本）
〒462-0032 名古屋市中区北区辻町字流7-6
TEL052(910)5489
FAX052(991)6241
Eメール Kankyo-c@pref.aichi.lg.jp（タイトルを「エコアクション21個人説明会申し込み」）とする。

【エコアクション21に取り組むメリット】

①総合的な環境への取り組み／エコアクション21ガイドラインには、「環境経営システム」、「環境への取り組み」、「環境報告」の三要素が一つに統合されている。そのため、ガイドラインに沿って取り組みを行なうことで、環境への取り組みを総合的に進めることができる。

②経営面での効果／環境経営システムの仕組みを作り、継続的に改善していくことにより、環境面だけでなく、経費の削減や生産性・歩留まりの向上、目標管理の徹底などの経営面での効果もあげることができる。

●身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

開催日時	事業・行事、場所、備考
7月29日(金) 9:30～ 17:30	事業・行事 「コミュニケーションスキルアップセミナー」 ところ ウィンクあいち 1003会議室 講師 二条 彪氏(株日本トップマネジメント研究所代表) 参加費 一人 32,000円(組合員)
8月4日(木) 18:30～ 20:40	事業・行事 経営セミナー 「永続的に繁栄する会社づくり」 ところ ウィンクあいち 1201会議室 講師 田中 典生氏(株脳力開発センター代表) ※定員 80名 参加費 一人 3,000円(組合員) 5,000円(一般)
8月8日(月) 10:00～ 17:30	事業・行事 Adobe CS5 テクニカルセミナー ところ ウィンクあいち 902会議室 ※定員 160名 参加費 ライセンス購入人数まで無料 未購入社5,000円(お一人)
8月27日(土) 13:30～ 16:30	事業・行事 教育事業 技能検定 学科試験対策学習会 ところ ウィンクあいち 定員 1級:25人 2級:30人 ※詳細調整中
9月10日(土)	事業・行事 従業員・家族合同レクリエーション大会 長浜地区ウォーキングとアグリパーク 竜王でのぶどう狩り(日帰りバス旅行) 参加費 大人3,500円 小人2,000円 定員240名

③金融機関からの低利融資制度／日本政策金融公庫はじめ、多くの金融機関で低利融資が受けられる。

④取引条件の一つに対応／多くの大手企業が環境への取り組みや環境経営システムの構築を取引条件の一つとしており、これに対応することができる。また、認証・登録にあたり自治体の補助を受けられたり、入札参加資格審査での加点を受けることができる場合がある。

⑤社会からの信頼／環境省のガイドラインに基づき、第三者機関の認証を受けることで、社会的な信頼を得ることができる。また、環境活動レポートを作成し、外部に公表することにより、取引先や消費者などからの信頼が向上する。これは、企業の社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)の一環にもなる。

⑥審査人による指導・助言／事業者は、審査の際にエコアクション21審査人から環境への取り組みに関する指導・助言を受けることができる。

※「エコアクション21」の詳細は、財団法人地球環境戦略研究機関 持続センター (IGES-CfS) エコアクション21中央事務局 <http://www.ea21.jp> まで。

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0568) 28-2049

訃報

■三河印刷(株)曾我朝光代表取締役社長のご母堂曾我かぎの氏は6月28日逝去された。通夜は6月29日、告別式は6月30日、豊田市小坂本町「イゾモ葬祭セレモニーホール 貴賓館」で執り行われた。

■(株)パッケージスクエア井上隆代表取締役会長は7月4日逝去された。通夜は7月5日、告別式は7月6日名古屋市中千種区の「いちやなぎ中央斎場」において執り行われた。

春の叙勲

「旭日小綬章」受章

岩田宗雄氏 (元愛知県印刷工業組合理事長)

春の叙勲で愛知県印刷工業組合理事長を歴任した岩田宗雄氏が旭日小綬章の榮譽に輝いた。

岩田宗雄氏は、昭和13年11月20日名古屋市昭和区亀城町で生まれ、昭和33年4月日本大学芸術学部写真学科で勉学の傍ら、千葉大学工業短期大学印刷学科で技術を習得、37年卒業と同時に日大印刷株式会社に入社し、翌年取締役役に就任した。51年代表取締役役に就任後は、一貫して堅実経営を基本方針として、生来の技術者精神を持って印刷のオフセット化、電算写植化、独自の開発のパソコン組版処理化を推進した。

この間卓越した手腕をかわれ、昭和47年5月愛知県印刷工業組合の理事に就任、次いで、昭和61年5月に同組合の副理事長に就任、平成11年5月に理事長に就任し、平成20年5月からは顧問となり現在に至っている。

また、昭和58年5月全日本印刷工業組合連合会監事に就任、昭和61年5月には同連合会理事に、平成12年5月からは同連合会常務理事、平成14年5月には同連合会副会長に就任し、全国視野での展開で活躍し、常に業界の指導的役割を果たしてきた。

他方、平成11年4月には愛知県中小企業団体中央会理事、平成13年4月から同会常任理事、



岩田宗雄氏

平成15年5月からは同会副会長に就任し、印刷業界のみならず全産業に関する振興にも活躍してきた。さらに、平成6年6月からは中部地区印刷協議会副会長、平成13年5月には同協議会会長を務めるなど、中部地区はもとより全国的な展開を含め、中小印刷産業に関する業界進展と発展に尽力した功績は極めて多大である。

岩田宗雄氏は、謹厳実直にして温厚篤実であり、己を持すること常に厳しく、かつ信義に厚い。また、生来の行動力や先見性に加え、多年にわたる企業経営と各種団体の役員勤務で培われた豊富な経験と見識を備え、事を処するに「誠実と信念」「強調と和合」の二つを座右の銘とし、時には己を省みることのない崇高な使命感と所信を貫く強い責任感、さらには、たぐい稀なる技術知識と積極的な行動力をもって、方向性を見失いがちな若手経営者、組合運営に的確な指示をするなど、組合員のみならず他団体や全国団体などからも幅広い信頼と人望を集めている。

KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

コミュニケーションに全てお任せください。

自校正

Digital Konsensus Premium Ultimate Edition

Falboard AQUA

デジタル印刷

bizhub PRESS C7000

環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム

BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 デジタルイメージング事業部 中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上ビル5階511F TEL. 052-229-4624(代)

IGAS開催にあたり小森会長は、「国内の景気は依然として不透明であり、更に、本年3月の東日本大震災の影響が加わり、大変厳しい状況であるが、被災された地域の復興と印刷関連業界の回復の起爆剤となるようIGAS2011を開催する。

今回の展示規模は、6月1日現在、出展者数305社、2,658小間であり、前回のIGAS2007に比べ約6割程度の出展状況となったが、プリプレスから印刷、ポストプレスに亘る世界の主要メーカーはもとより、特にデジタル分野では活気あふれる多くのベンチャー企業が出展する。

『Print Your Future! 印刷は環境と共に進化する』を

■印刷機材団体協議会 「IGAS2011」

305社2,658小間で
予定通り開催

9月16日～21日・東京ビッグサイト



テーマは「Print Your Future! 印刷は環境と共に進化する」

印刷機材団体協議会（小森善治会長）は、9月16日～21日までの6日間、東京ビッグサイトで開催される国際総合印刷機材展「IGAS2011」の開催内容を発表した。東日本大震災で開催が危ぶまれていたが、予定通り開催されることになった。

統一テーマとして、展示、講演会、セミナーを通して印刷メディアが持つ役割やパワーと創造性、印刷産業の可能性と明るい未来が展望できるものと確信している。また、東日本大震災の復興支援の為、義援金の贈呈、特別展示や様々なイベントを計画している。

世界の最新技術を駆使した機材とサービスが一堂に会して展示・実演される展示会であり、印刷・紙工産業に関心のある多くの方々がビッグサイトに集まる。出展者と来場者が直にコンタクトして意見交換ができる貴重な機会であり、双方にとって実り多い成果が得られる展示会となるものと確信している」と述べた。

〈IGAS2011開催概要〉

- ①名称＝IGAS2011（国際総合印刷機材展）
- ②開催趣旨＝本展示会は、最新の印刷・紙工・デジタルグ

ラフィックス関連の機材と技術を一堂に会した国際総合印刷機材展であり、現在直面するいろいろな課題へのソリューション提案、印刷産業の将来や最新技術動向が展望できる場を提供すると同時に、人材の国際的交流を図り、印刷関連業並びに関連業界の活性化や興隆に寄与することを目的として開催する。

③主催＝印刷機材団体協議会（Japan Graphic Arts Suppliers Committee: JGASC）

④後援＝経済産業省、東京都、日本貿易振興機構（JETRO）、(社)日本印刷産業連合会、(社)日本印刷学会、全

国段ボール工業組合連合会、全日本紙器段ボール箱工業組合連合会、デジタルサイネージコンソーシアム、(財)デジタルコンテンツ協会

〈展示会〉

- ①開催日＝9月16日(金)～21日(水)
- ②開催時間＝午前10時～午後5時（最終日は4時）
- ③会場＝東京ビッグサイト東館1～6ホール
- ④入場料＝当日販売：通し券2,000円、事前登録販売：通し券1,000円
- ⑤展示場総面積：51,380㎡
- ⑥展示規模＝出展者数：305社
- ⑦出展面積：2,658小間（23,400㎡）
- ⑧入場者見込み＝10万人

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業が求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社
www.toyoink.co.jp
中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市中区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

「カーボンフットプリント制度」

出版・商業印刷物編

印刷物のカーボンフットプリント算定方法

(社)日本印刷産業連合会では「カーボンフットプリント制度」(出版・商業印刷物編/紙製容器包装、プラスチック製容器包装編)を解説したパンフレットを作成し、カーボンフットプリント制度の啓蒙を促している。以下、出版・商業印刷物編について紹介してみる。

(日印産連では、「カーボンフットプリントの算定方法に関する調査研究報告書」、「事業者のためのGHG 排出算定ガイドライン」も同時に刊行している。なお、「カーボンフットプリント制度」に関しては、日印産連ホームページ <http://www.jfpi.or.jp> から検索が可能である)

カーボンフットプリント (CFP) とは—

【カーボンフットプリントとは】

私たちが購入、消費している製品・サービスは、作る段階から捨てられる段階までの一生を通じて多くのエネルギーを必要とし、それに伴い二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスを排出する。カーボンフットプリントとは、製品やサービスの生産や使用、廃棄などにおいて、どれだけの温室効果ガスが排出されたかを、CO₂換算で「見える化」したものである。

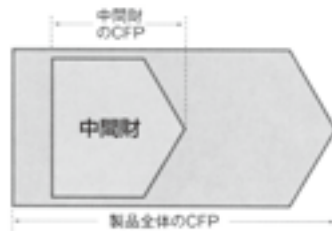
「カーボン」とは炭素を意味し、「フットプリント」とは足跡を指している。炭素の足跡、つまり、「製品の一生の各段階で残される炭素の痕跡」を示す概念である。

【カーボンフットプリントのメリット】

カーボンフットプリントを取り組むことで、どのようなメリットが得られるのか? 大きく以下の3点がある。

①事業者が製品・サービスの提供における環境負荷を認識することで、環境負荷低減やコスト削減につなげることができる。

②消費者が製品の環境性能を認識することで、環境に配慮した購買行動を



中間材、最終製品(最終材)

中間材は、BtoBのビジネスにおける中間製品を指し、最終製品(最終材)は、BtoCにおける最終消費者向けの製品を指す。例えば、書籍や宣伝用印刷物では印刷会社が受け持つのはライフサイクルの生産段階までで、印刷会社にとっては、最終材と形は同一でも中間材の扱いになる。流通段階からは、発注者側の受け持ちとなる。



▼問合せ先 (社)日本印刷産業連合会
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館 TEL03-3553-6051

促すきっかけになる。

③所定の手続きに基づいて、第三者検証を受けた製品は、その製品のカーボンフットプリントについての内容と取り組みが、Webサイトに掲載される。

【出版・商業印刷物のカーボンフットプリント】

本パンフレットが対象としているのは、最終製品(例えば、書籍や広告)ではなく、「中間材」としての出版・商業印刷物である。従って、「作る段階から捨てられる段階」のうち、「中間材として必要となる段階」に関するカーボンフットプリントの算定が必要となる。

出版・商業印刷物(中間材)では、原材料調達段階と生産段階に係わる全

オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。



株式会社 アクスアス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL.(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX. (052) 220-5522
Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail info@axuas.jp

「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。

聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。

ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。

必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずですよ。

心よりお待ち申し上げております。

(紙営業本部 環境ソリューション事業部)

てのプロセスのCO₂排出量を算定する。生産段階から発生する廃棄物やリサイクル品については、その焼却や埋め立て、リサイクル準備に係わるCO₂排出量が算定の対象となる。

【信頼できる CFP の算定のために】

本パンフレットで扱う「中間財」としての出版・商業印刷物では、あくまでも原材料の調達から生産までのカーボンフットプリントの算定を意図しているため、中間財のみのカーボンフットプリントの数字を、最終製品に表示することはできない。

中間財のカーボンフットプリントは、算定した数値を最終製品のカーボンフットプリント算定を行ないたい発注企業などに引渡し、発注先と共に表示に関する取り組みを行なう必要がある。ただし、最終的な表示のためには、中間財であってもその算定結果が信頼できる数値である必要がある。そのために、本制度においては一定の計算方法

中間財・最終製品に関するCFP



が「PCR」と呼ばれる文書に定められている。また、定められた方法に基づいて計算した結果については、所定の手続きを経て、第三者による「検証」という審査を経る必要がある。

単位あたりに排出されるCO₂の量を計数化したもの。(例えば、電力1 kWhあたり0.484kg-CO₂など)

〈具体的にどんなデータを取る必要があるのか〉

印刷物のカーボンフットプリント算定方法

【出版・商業印刷物のPCR】

我が国のCFP制度では、同一の製品・サービスの場合には共通した計算方法に基づいてCO₂排出量を算定することが求められている。

この同一製品又はサービスの種別ごとの共通の算定基準のことを、PCR (プロダクト・カテゴリー・ルール、商品種別算定基準) という。

出版・商業印刷物 (中間財) についても既にPCRが定められており、経済産業省のCFPに関するWebサイトで入手することが可能である。

〈対象となる製品の例〉

- ※ 出版印刷物：新聞、雑誌、書籍、その他
- ※ 商業印刷物：宣伝用印刷物 (ポスター、パンフレットなど)、業務用印刷物 (報告書、マニュアルなど)
- ※ 以下のものは対象としない／①印刷版を使用しないオンデマンド印刷により作成するもの、②電子出版物 (CD-ROM、DVDなど)、③POP、④付録類 (電子媒体、試供品など)

【温室効果ガスの算定についての考え方】

温室効果ガスの算定は、プロセスごとに把握する。算定の最も基本的な考え方は、活動量に原単位を掛け合わせるという算定式である。この算定式により、各プロセスでの温室効果ガスを算定し、最終的にそれらの算定値を足し合わせてCO₂排出量を求める。

$$CO_2 \text{ 排出量} = \text{活動量} \times \text{排出原単位}$$

※ 活動量とは？ 紙や電力や灯油などの原材料、エネルギーの投入量、廃棄物量などのデータ。(例えば、算定対象製品の生産1ロットあたり250kWhの電力を使用するなど)

※ 原単位とは？ それぞれの活動量

活動量の把握を最優先/事業者の皆さんは、まずは活動量の入手に務める。活動量は、直接計測するほか電力会社やガス会社からの購入伝票から把握することができる。(詳細な把握方法についてはガイドラインを参照)

原単位は用意されたものを使用/原単位は制度側で用意された数値を使用する。(原単位は、下記のWebサイトで入手できる。)

<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

Webサイトに載っていない原単位については、Webサイト上に記載されているCFP関連データ収集整備事業事務局へ問い合わせを。

(なお、日印産連が行なっているこれらの事業は、競輪の補助金を受けて実施されたものである)

製品プロフィール(1万部/ロット)		使用設備	
A5版、256頁、オフセット複色印刷 上装印刷紙、白紙紙5PP紙(表紙)		DOCP(出力機)、安全4色印刷、新鋭機、折機、丁合機、無断紙機、照明、空調	
紙	インキ	表裏加工	製本
原材料(部) PS版等-13kg エネルギー 電力-380kWh 廃棄物 高ブラ-700g	原材料(部) 上装印刷紙-240kg インキ-20kg エネルギー 電力-1,200kWh 廃棄物 紙くず-8kg	原材料(部) フィルム-12kg エネルギー 電力-50kWh 廃棄物 高ブラ-300g	原材料(部) のり-0.7g エネルギー 電力-770kWh 廃棄物 紙くず-2kg
各プロセスから発生したCO ₂ 排出量を足し合わせる			
CFP=6,130 kg-CO ₂ /1D(1万部)			

算定事例
ここに記載されている原材料やエネルギーはあくまで一例である。実際にはそれぞれの対象製品の製造状況に合わせて取得するデータを決定する。

■消費電力削減アクションプラン

全印工連「消費電力策威厳対策特別委員会」からの提案

全印工連では、政府から発表された「夏期の電力需給対策」に関連し、消費電力削減アクションプラン、具体的な削減方法を提案した。

〈アクションプラン〉

①就業時間を変更して、早番および遅番を設け、常に1/2の台数の稼働とする。効果：常時電力消費量が50%となる。一例：早番7:00～14:00、遅番14:00～21:00

②土・日曜日を活用して平日休業とする。効果：動力消費電力が分散する。

③昼休みを平日13:00～16:00時間の中で1時間とする。効果：動力消費電力が33%削減となる。

④交代制を採用している場合は、13:00～16:00の時間帯において1時間、印刷機械を完全ストップする。効果：交代制の場合どこかで停止しないと動力消費電力の削減は出来ない。

⑤組合員同士で輪番制を取る。例えば、6者を1単位とし、各企業と調整して順番に6日に1日は休日とする。

⑥複数の機械を所有している企業は、ピーク時前後に機械を順番に止める。例えば、単純に考えると4台所有している企業は、12:00～16:00の間、時間をずらして1台ずつ休止することで

25%削減となる。

⑦9:00から20:00はUV機を稼働しない。UV機は一般の機械に比べて総動力が大きいので、9:00～20:00まではできる限り稼働せず、夜間に稼働する。

⑧冷房設定温度は、工場の室温26℃、事務所の室温28℃とする。空気を拡販するサーキュレータを導入すると効果的である。

〈具体的な削減方法〉

①空調（複数の空調設備を有している場合）／空調を一齐にONにすると、消費電力が一気に上昇するので、30分程度ずらしながら順番に電源を入れることで、消費電力の平準化がはかれる。また、設定温度を1時間おきに変える。例えば2台の場合、1台目は28℃、2台目は27℃とし、1時間おきに1台目27℃、2台目28℃というように交互に設定温度を変える。さらに、昼休みなど、空調をストップするより、その時間内は設定温度を30℃に上げて、連続運転したほうが、一時的な消費電力の上昇を防ぐことができる。

②印刷機械／複数の印刷機械を有している場合、一齐に立ち上げない。20～30分程度間隔をあける。印刷機械を一齐にスタートさせると消費電力が一

気に上昇する。30分程度ずらしながら順番に稼働することで、消費電力の平準化がはかれる。さらに、回転速度を下げる。

③コンプレッサー、エアポンプ／圧力設定を下げる。下げる際は、低圧力の影響による着脱などに注意する。コンプレッサーに繋がるエアシリンダー、ベン、ホースなどを点検し、破損していたら修理、交換してエア漏れを防ぐ。さらに、空調フィルターの清掃を頻繁にし、必要に応じて交換する。

④契約電力の引き下げ／デマンド監視装置を導入し、契約電力の引き下げを行う。この場合、契約電力を超えないように注意・自製が働き、節電意識が喚起され定着する効果がある。節電の有効な手段となる。

⑤その他、会社全体で取り組む削減方法/1)照明を1/3以上消灯する（使用していないエリアは消灯を徹底する）。2)白熱灯を電球形蛍光灯やLED照明に交換する。3)夏期休業期間を延長する。4)NO残業デーを設ける。5)PCの電源を落とす（1時間以上席を離れる場合は、PCの電源を落とす）。6)エレベーターの使用を制限する。7)電子ポット、ウォータサーバーの使用を控える。8)使用していない電化製品のコンセントは抜いておく。9)従業員に対して家庭での節電の必要性、方法について啓発する。

事務局だより

■「愛知県印刷会館」地鎮祭



地鎮祭で鍬入れを行う
白井協同組合理事長(左)
玉ぐしを捧げる高井愛印工
理事長(下)



建て直しを行います新「愛知県印刷会館」の地鎮祭が6月29日午前10時より、白井協同組合理事長、高井理事長、木野瀬、細井、鳥原、岡田4副理事長、そして、役員ら多数が出席し執り行われました。神主による土地の神を祭り、工事の無事を祈

願する祝詞に続き、白井協同組合理事長らによる鍬入れ式が行われ、本格的な着工へのスタートが切られました。完成まで6ヶ月あまり、新しい年の幕開けには、皆様方にご披露することができると幸いです。(なお地鎮祭の詳細は来月号に掲載します)

あいの印刷

No.476

平成23年7月10日発行

発行人 高井 昭 弘
編集 組織・官公需委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〈仮移転先〉 愛知県製本会館 5階
〒461-0005 名古屋市東区東桜 2-9-22
TEL (052) 508-5201
FAX (052) 979-5366

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp